令和５年度３学期献立作成討議会会議録

１　日時

　　令和５年９月27日（水）15:30～16:40

２　場所

　　東部学校給食センター

３　議題

（１）令和５年度１学期の献立反省について

（２）令和５年度３学期の献立案について

　　ア　献立一覧表

　　イ　平均栄養価

　　ウ　献立表下の文章

４　出席者

　　髙田　尚美　　　（名古屋学芸大学准教授）

　　増田　榛菜　　　（秦梨小学校教諭（給食主任））

　　青木　結唯　　　（美川中学校教諭（給食主任））

　　小島　安也音　　（六ツ美南部小学校教諭（給食主任））

　　佐藤　真希　　　（六ツ美北中学校教諭（給食主任））

　　平井　和美　　　（広幡小学校教諭（給食主任））

　　森　裕美　　　　（新香山中学校（給食主任））

　　金子　寿美恵　　（みあい特別支援学校教諭（給食担当））

　　本多　克裕　　　（公益財団法人岡崎市学校給食協会理事長）

　　天野　綾香　　　（保護者（学校給食センター運営委員会委員））

山内　瑠美　　　（保護者（学校給食センター運営委員会委員））

５　事務局

　　大矢　美代子　　（根石小学校栄養教諭）

　　松井　涼香　　　（男川小学校栄養教諭）

　　竹内　梨紗子　　（岩津中学校栄養教諭）

梅村　綾子　　　（大樹寺小学校栄養教諭）

　　鈴木　ひび喜　　（六ツ美中部小学校栄養教諭）

山本　弘子　　　（矢作北中学校栄養教諭）

大脇　瑛美　　　（矢作南小学校栄養教諭）

　　榊原　由実子　　（福岡小学校栄養教諭）

金丸　裕美　　　（矢作南小学校栄養教諭）

伊藤　満　　　　（公益財団法人岡崎市学校給食協会事務局長）

宮瀬　和之　　　（学校給食センター所長）

　　川合　弘晃　　　（学校給食センター所長代理）

　　林　裕美　　　　（教育委員会事務局教育政策課給食施策係主査）

６　傍聴者

　　なし

７　議事の趣旨

（１）令和５年度１学期の献立反省について

（出席者）家康公メニューの日が代休日になってしまった。月曜日は代休になる学校も多いので特別な献立は月曜日以外にしてほしい。

（事務局）大河ドラマの翌日に家康公メニューを持ってくることで話が弾むのではないかという意図があり、当初はなるべく月曜日の提供になるよう考えていた。しかし月曜日は代休になることが多いと指摘を受け、火曜日やその他の曜日に提供することとしたが、使用する野菜の納入の都合等で月曜日になってしまったセンターもあり、申し訳なかった。

（出席者）食べない子が増えてきたと感じている。体が大きい子でもお茶碗の１/４しか食べない子もいる。理由はよくわからない。

魚料理の日は肉料理の日に比べて残ることが多い。減らす子もいれば増やす子もいる。しかし、食感がかたい魚の日は1クラス20尾ほど残ってしまうこともあった。魚がはっきりわかる料理は苦手な子が多い。

（出席者）ご飯にかけるビビンバなどの時におはしだと特に１年生は食べにくい。

（事務局）各センターで十分に検討し、給食に合わせて箸やスプーンを適宜選択　　　　する。

（出席者）乳アレルギーの児童の保護者から、パンの日を固定にしてほしいとの要望があった。

（事務局）各センターや他の市町村との兼ね合いで、麺の使用日が限られてしまう。

　　　　空いている日にパンを入れるため、同じ曜日にパンを入れることが困難。

（出席者）中学校なのでよく食べる子が多い。給食委員中心に完食を目指す取組を行った。給食の次の授業が体育大会の練習だと給食を減らす子が多い。

　　　　　好き嫌いではなく環境面、時間の都合で残すこともあるが、食べるこ　　　　とは体づくりに必要ということを伝えていきたい。

（出席者）特別支援クラスは、多学年混合なので配膳が難しい。

　　　　特別支援クラスだと、よく食べる子が食べない子の分を食べるのでクラス　　　としての残食は少ない。食べない子に対して「これくらいは食べられると　　　いいね」などの声掛けをしている。

　　　　　給食委員で配膳室の手伝いをすると、牛乳容器が変わってから牛乳の廃棄量が増えていて驚いている。これから寒くなるとさらに増えると思う。どうしたら飲ませることができるか悩んでいる。

（出席者）食べ慣れていないものが出ると箸が進まない。減らす子が多い。食べられる量を自分で考えて食べるように指導している。

　　　　　他の学年、クラスはアレルギーの子供がいるので2年生のみストローレスで飲んでいるが、生徒から「これは上品じゃないよね」という意見があった。飲み方に思うところがあるようだった。

（出席者）障害特性上、偏食が多い。食べて欲しいと思うがどうしたらよいのか　　　試行錯誤している。冷凍みかんが出た日が寒い日で食べにくかった。

カレーシチューとカレーの違いが分からない。ごはんにかけて食べていいのか、指導方法がわからない。

　　　　　レバーの料理が工夫されていておいしく食べている。郷土料理や珍しい　　　献立などを取り入れた給食もおいしかった。

（出席者）子供の学校は給食をたくさん食べていて残食が少ない。

　　　　人気すぎて「おかわりしたかったのに残っていなかった」と話すときも　　　　あった。9月の家康公メニューのししゃもの天ぷらがとてもおいしかった。　　　　　魚が嫌いな子でも食べられた。

　　　　　牛乳パックはこぼしそうだけど頑張って飲んでいると言っていた。どう　　　　しても飲めない子にはストローが配布されている。

（出席者）牛乳パックの形状が変わって、匂いがダイレクトにくるので牛乳が苦　　　手な子はなかなか飲みきれない。牛乳パックの飲み方に抵抗がある。

　　　　　必要な子はストローを使っていいと言われ、ストローを持って行って飲　　めるようになった。

　　　　　スラッピージョーが教室で人気の献立だと子供が言っていたので家で作　　　ってみたが、味が違うため不評だった。自分が食べたことがないのでどう　　　違うのか分からなかった。キッチンカーやイベントなどで給食のスラッピ　　　ージョーを食べることができる機会が身近にあると嬉しい。

　　　　　自分は給食について知る機会が持てたが、広く給食について知ってもらう機会があるとよいと思う。

（事務局）牛乳容器が変わり、子供たちから「牛乳の味が変わった」「少し飲みにく　　　い」という声があったが、しばらくすると「おいしくなった」と言って飲めるようになったり、慣れてくる様子が見られた。牛乳パックの飲み方について、学校では「個人のものだから口をつけて飲んでもいいよ。家の大きいものとは違うんだよ。」と丁寧に説明している。ご協力をお願いしたい。

（２）令和５年度３学期の献立案について

（事務局）物価高騰によって内容が変わるかもしれない。

（出席者）リンゴや梨の皮や芯を取って提供できないのか。他の自治体ではカット　　　して皮をむいたものがビニールに入って提供されていた。

（事務局）岡崎市では青果物として納品し、消毒やカットを行っている。皮むき　　　器がなく、皮や芯を手作業で取り除くのは食数が多く不可能であるため、今の形状で提供している。

　　ア　献立一覧表（別紙添付）

1. 新献立

　　　【１月分】

　・かみかみナムル

　・法性寺ねぎのサムゲタン

　　　【２月分】

　　　　・塩から揚げ

　　　【３月分】

・ポークチャップ丼

（出席者）中学校の３年生が新献立を食べずに終わってしまうのではないか。可能であれば食べさせてあげたい。

（事務局）主食がすでに決まっており、３月上旬には桃の節句の行事献立、卒業お　　　祝い献立等が入るため、センターによっては３年生のみ食べられないかもしれない。できるだけ配慮して献立を組み合わせるようにする。

（３）　献立表下の文章

　　【１月分】　学校給食週間　給食メニューコンクール

　　【２月分】　食物アレルギーについて

　　【３月分】　給食クイズ　１年間を振り返ろう

（出席者）意見なし

（４）その他

（事務局）各校で、食べ残しを減らすための取組を行っていることがあれば教　　　えて欲しい。

（出席者）給食委員会で、生徒の発案による「給食をきれいに配りきろう」とい　　　う取組を行った。残さないように分配できるとポイントをもらえるという仕組みで、１か月ほど取り組んだ。自分の分として配られることで、減らしにくる子が減り、残食も減った。

（出席者）同じく委員会で配りきることを目標とした取組を行ったことがある。

　1年生のころから食べきることを習慣化しておくことが大切。そういう学年は２、３年生になってもよく食べる。